

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

自分大好き 友だち大好き 潮田大好き ～学校教育の基盤・人権教育(自尊感情・関係形成・多文化共生)
 ○ねばり強く問題解決に取り組み、学ぶ喜びを実感できる子を育てます。(自尊感情:知)
 ○規範意識をもち、自信をもって他者とよりよい関係を築くことができる子を育てます。(自尊感情・関係形成:徳)
 ○自らの健康に関心をもち、自分の生活に生かせる子を育てます。(自尊感情:体)
 ○潮田の町や人やものとかかわり、地域と共に生きる子を育てます。(関係形成・多文化共生:公)
 ○自国の伝統や文化のよさを知り、いろいろな国とのつながりを大切にすることを育てます。(多文化共生:開)

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力

<自分づくりに関する力>
 <問題発見・解決能力>
 <言語能力>

具体化した資質・能力

感じたことを言葉にする力 相手の思いを受け止めて聞く力
 願いをもつ 問題を発見する力 自分らしさを発揮しようとする姿勢

中期取組目標

○他者との豊かなかかわりを通して、一人ひとりが自己有用感をもち、安心して楽しく学校生活が送れるようにします。
 ・ひとりを大切にしたい指導を充実させるとともに、学ぶ楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの思いを大切にしながら学力の向上を目指します。
 ・自ら問題を発見し、他者とかかわりながら主体的・対話的に、粘り強く問題を解決する授業や活動を推進し、成就感、自己有用感を味わえるようにします。
 ・自分の思いや考えを適切な表現で相手に伝える力や、相手の思いを受け止めて聞く力を育む教育を推進します。
 ・学校を支えてくれる「人」(愛育会・共学舎・地域の人)とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、まちを愛する心や感謝する心を育てます。

学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
学力向上	①学習意欲が高まり、自分の思いを自分で表現し、自分の思いを適切な表現で相手に伝えられるように、日記や作文を書く活動を通して語彙を増やす。②全職員、一人一回以上、研究授業を行う。③各学年に専科教員等を配置し、個に応じた指導の充実を図る。④地域人材を生かした放課後・休日学習支援を積極的に推進する。
担当	研究部

学力向上に関わる本校の状況

・学習に対する主体性があまり感じられず、繰り返し学習をしても意欲がないので表現力には結びつかない。
 ・活動内容が明確であったり、見通しがもてていたりすると学習に取り組めるが、自分で判断して選択したり、自分で考えて表現したりすることに苦手意識がある児童が多い。
 ・自分に自信がなく、人と同じ意見であることに安心する児童が多く、自分の言葉で表現できず着る児童が少ない。
 ・自分の思いを表現することに苦手意識があるのは、語彙力の乏しさも関係していると考えられる。

今年度の目標

「主体的に自分の思いを表現できる潮田っ子の育成」を目指し、相手意識や目的意識を明確にした言語活動を通して国語科の授業研究を行い、テーマ達成を目指す。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期
 ・各学年の取組として、意図的に語彙を増やす活動を行う。
 1年生はノート指導、言葉集め、三文作文、音読を行う。
 2年生は日記(事実・感想・理由を書く)、5秒間感想を行う。
 3年生はお題を決めて〇字作文、「。」読み音読、日直スピーチを行う。
 4年生は、新出漢字例文音読、日記(はじめ、中、終わりを意識する)を行う。
 5年生は日記(「言葉のたからばこ」から言葉を1つ使う)、日直スピーチを行う。
 6年生は週末作文(100～200字)、宿題での読み取りテストを行う。
 個別級では日直スピーチと日記を行う。
 ・教育活動全体を通して語彙を豊かにしつつ、獲得した語彙を言語活動において生かしながら、国語科において育成を目指す資質・能力をよりよく身につける。
 ・相手意識と目的意識を明確にした言語活動を通して、自分の思いを主体的に表現する。

下半期
 ・各学年の取組の中で効果的であったものを継続していく。
 ・教育活動全体を通して語彙を豊かにしつつ、獲得した語彙を言語活動において生かしながら、国語科において育成を目指す資質・能力をよりよく身につける。
 ・相手意識と目的意識を明確にした言語活動を通して、自分の思いを主体的に表現する。

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
人権教育	①うしおだYYに取り組み、外国につながる子どものアイデンティティの確立を図る。また、すべての児童が、うしおだYYや多文化共生授業で文化のちがいが多様性を認め、互いのよさを知ることで、他者の思いによりそう心情を育てる。②校内人権研修を通して、教職員の人権意識や児童保護者理解を高め、児童も保護者も教職員も誰でも安心して過ごせる学校づくりを進める。
担当	人権部・国際担当

豊かな心に関わる本校の状況

・全校の約20%の児童が日本以外の国につながっているが、母国のことを知らない児童もいる。(日本で生まれている。)
 ・言葉の壁があり、学習でも不安を抱えている児童がいる。
 ・国際担当の教諭が各学年におり、取り出し学習として国語・算数を中心に学習をしている。
 ・配付の手紙は、翻訳版を配付している。
 ・自分の良さを見つけれない児童が多く、進路にも迷いを持っている。

今年度の目標

・他者の良さを認め合いながら、自分の良いところも見つけ、それを伸ばそうとする。
 ・いろいろな国の文化に触れる。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期
 ○「うしおだYY」の活動を行う。
 <外国につながる児童>
 ☆同じ母国、文化につながる友だちと交流を深められる活動を行う。
 ☆自分のつながる国の文化を知ることにより、自尊感情を高められるように支援したり、声をかけたりしながら活動を行う。
 <日本のみにつながる児童>
 ☆うしおだYYの意味を知り、身近に外国につながる友だちがいることに気づけるような活動を行う。
 ☆うしおだYYを通して、学級の友達のつながる国の事を知り、それを手掛かりに友達との関係を深められるような時間をとる。

下半期
 <外国につながる6年生の児童>
 ☆「外国につながる」ことに対し、自分自身が感じてきた思いや、うしおだYYに参加したことによって感じたことをふり返り、作文にまとめる。
 ☆伝えようという思いをもち、友だちの前で発表する。
 <外国につながる4、5年生の児童>
 ☆発表会の準備や司会などの運営を通し、高学年として、YYのリーダーになるという自覚をもつ。
 ☆外国につながる6年生の発表を聞き、自分自身のことをふり返るとともに、来年、再来年に対する見直しをもつ。
 <外国につながる1～3年生の児童>
 ☆「外国につながる」ことに対し、自分が感じていることや、YYの活動やそのよさを、クラスの友だちに伝えようとする。
 <その他の児童>
 ○外国につながる6年生の発表を聞き、思いを共有する。(4・5・6年生)
 ○YY参加児童の話や発表を聞き、思いを共有する。(1・2・3年生)
 <全児童>
 ○潮田小学校の友だちの豊かさに気づき、一緒に過ごすよさを感じる。

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健やかな体	①基本的な生活習慣を身に付けられるように、学校保健委員会を行う。②学校だよりや保健だより等で、保護者への協力を呼びかける。③体育学習や体育的行事の充実を図る。(研修の実施、特別委員会での検討等)④委員会活動で体力向上への取り組みを企画する。(長縄、短縄、ドッジボール、運動委員会等)
担当	体育部

健やかな体に関わる本校の状況

・遅刻する児童が多く、朝食を食べないで登校することが多い。
 ・生活リズムが整わず、夜更かししている児童が多い。
 ・給食の残量が多い。(食べたことのない食材も多い)
 ・できるまでなにより強く頑張ろうとする児童が少ない。

今年度の目標

・基本的な生活習慣を身に付けられるようにする。(早寝・早起き・朝ごはん)
 ・運動や食事を通して自分の健康について考えることができる。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期
 ・体育学習や体育的行事の充実を図れるような活動を行う。(研修の実施、特別委員会での検討等)
 ・楽しんで体を動かせるような工夫を考え行う。
 ・委員会活動で体力向上への取り組みを企画する。(長縄、短縄、ドッジボール、運動委員会等)
 ・「早寝・早起き・朝ごはん」への取組を行う。
 ・夏休みにも継続できるように計画する。
 ・学校保健委員会を開き、保護者にも協力してもらえるようにする。

下半期
 ・上半期同様に活動は続ける。
 ・「早寝・早起き・朝ごはん」の活動を冬休みにも続けられるようにする。
 ・第2回学校保健委員会を開き、1年間のまとめをする。
 ・運動を通してできるようになったことや、頑張ったことについて1年間を振り返り、次年度への意欲につなげられるような活動を行う。